

2006年3月期 決算説明会

<米国会計基準>

2006年4月26日

—注意事項—

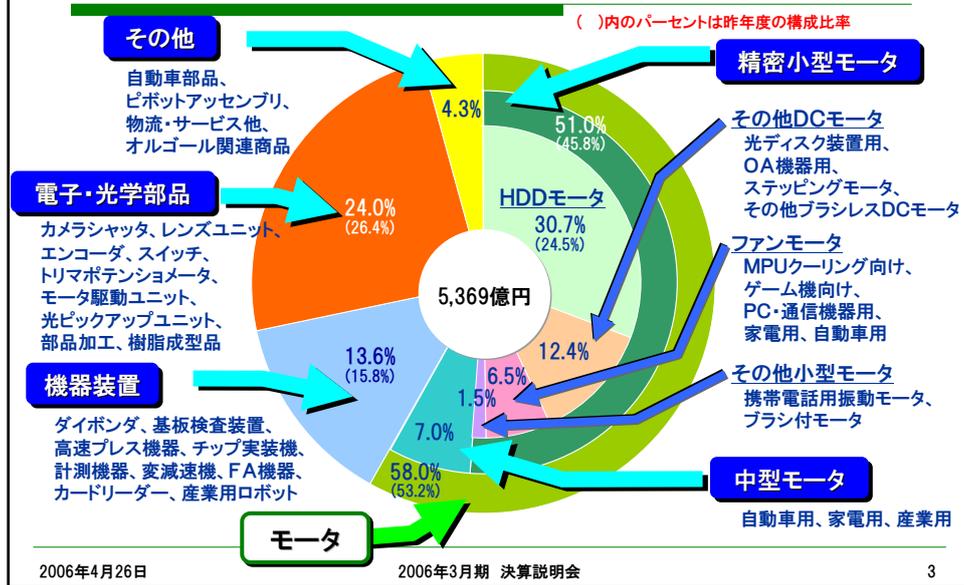
本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績、及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。

2005年度連結決算のポイント

- 売上高、税引き前利益、当期利益、一株利益は期初見通しを上回り**過去最高を更新**
- 年間配当金は**20円増配**の一株65円を予定*
- 「精密小型モータ」は**HDDモータ**が牽引し23%増収、37%増益
- 「中型モータ」は車載用モータの**開発費負担増等**が影響し大幅減益
- 「機器装置」、「電子・光学部品」、「その他」は**新製品立ち上げ遅れ等**が影響し減益

* 前年比較のため2005年9月末を基準日として実施した1対2の株式分割前の株数にて計算しています。

事業区分別売上構成(2005年度)



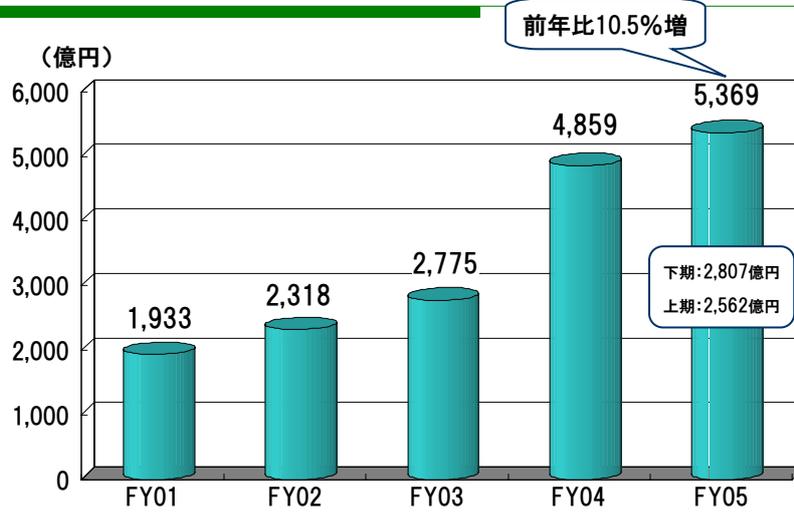
損益計算書

(百万円)	03年度	04年度	05年度	増減
売上高	277,497	485,861	536,858	+10.5%
営業利益 (営業利益率)	22,015 (7.9%)	53,665 (11.0%)	53,426 (10.0%)	-0.4%
税引前利益	19,639	57,290	64,378	+12.4%
当期利益	16,089	33,455	40,949	+22.4%
一株利益(円)	251.14	479.74	570.94*	+19.0%
対米 ^F 為替レート				
平均...	113.07円	107.55円	113.31円	+5.4%
期末...	105.69円	107.39円	117.47円	+9.4%

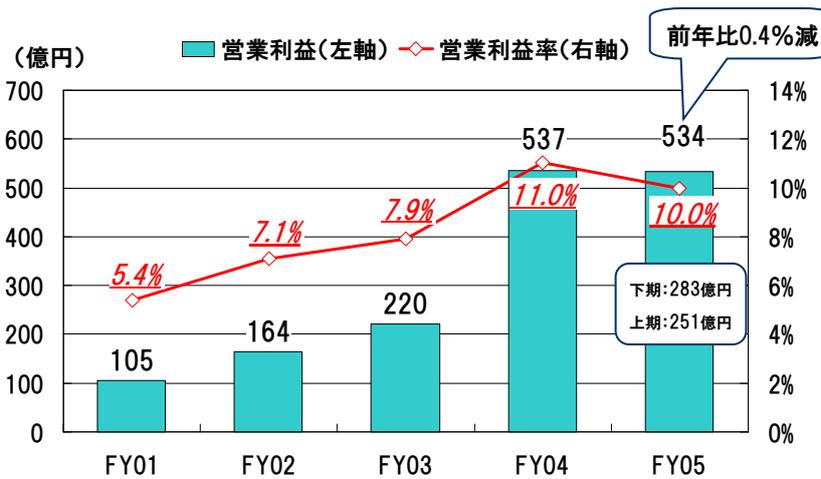
為替変動による影響額: (前年比)
為替差損益... 約+55億円

*2005年9月末を基準日として1対2の株式分割を実施しており、株式分割後の株数ベースでは285.47円となります。

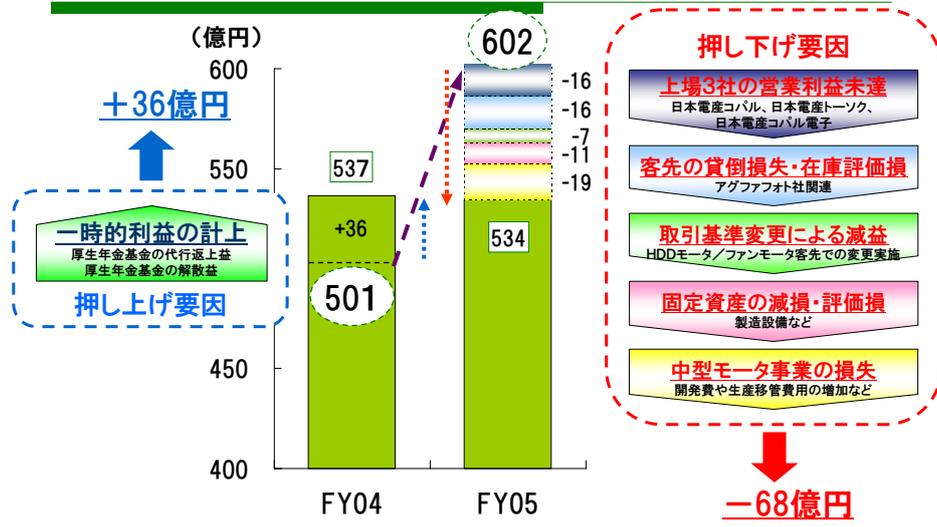
売上高の推移



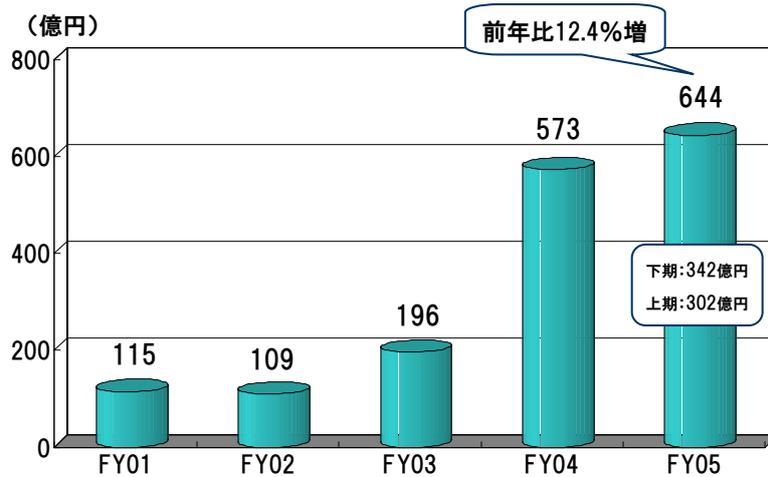
営業利益と営業利益率の推移



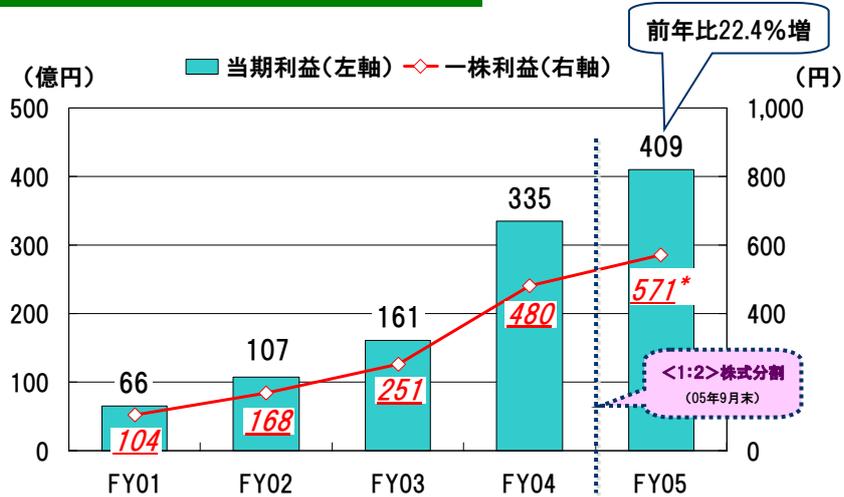
営業利益の押し下げ要因(前年比較)



税引前利益の推移

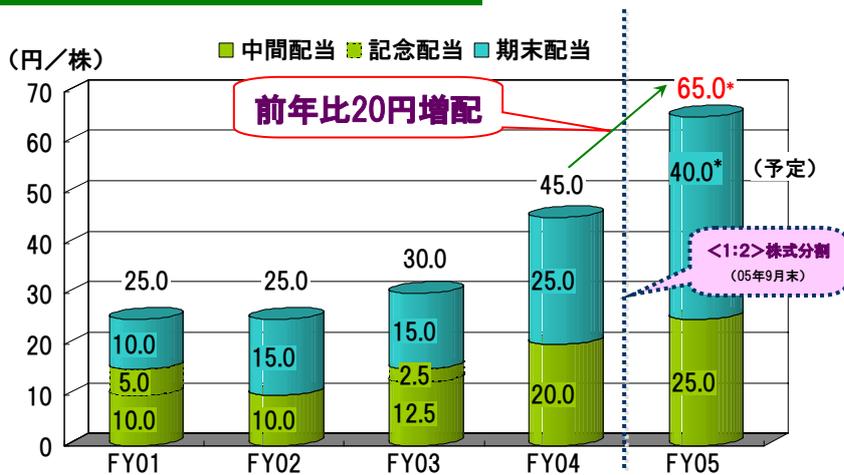


当期利益と一株利益の推移



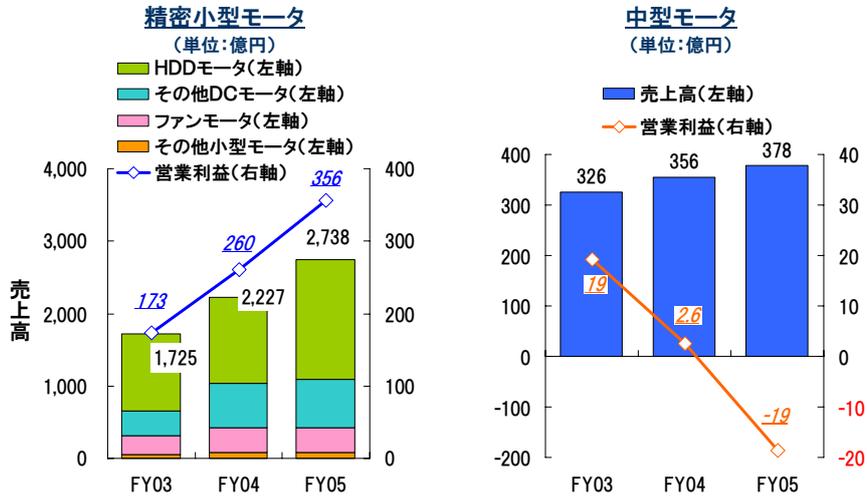
* 2005年9月末を基準日として1対2の株式分割を実施しており、株式分割後の株数ベースでは285.47円となります。

配当金の推移

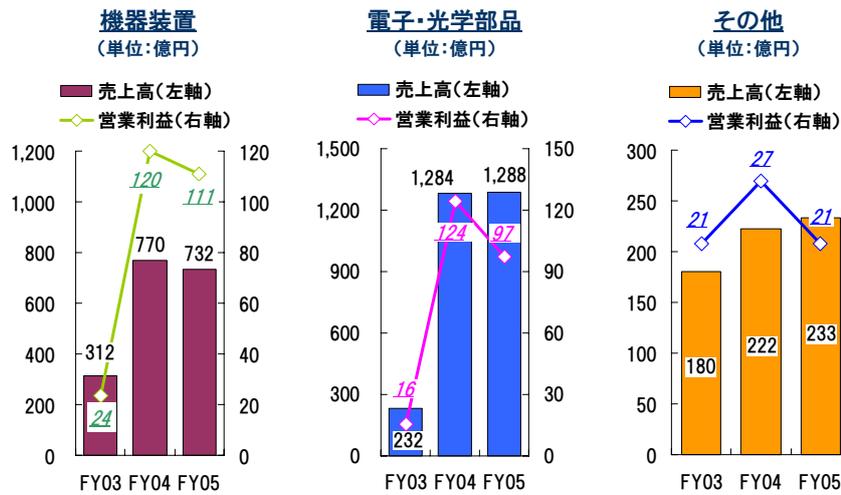


* 2005年9月末を基準日として1対2の株式分割を実施しており、株式分割後の株数ベースでは期末配当20円、年間配当45円となります。

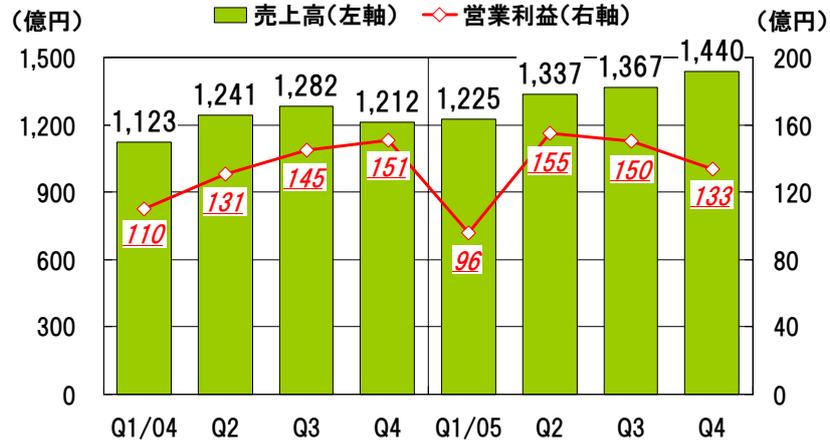
事業区分別業績 ＜精密小型モータ、中型モータ＞



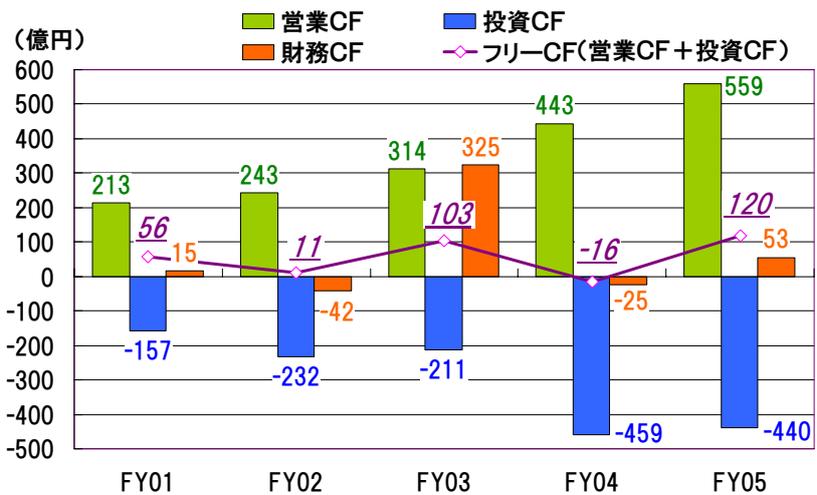
事業区分別業績 ＜機器装置、電子・光学部品、その他＞



四半期別業績



キャッシュフロー



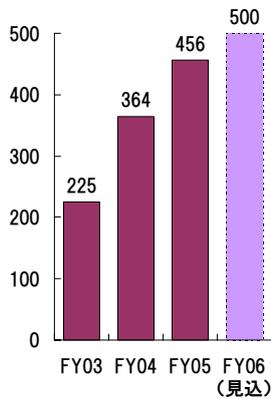
2006年度業績見通し

(百万円)	2005年度		2006年度		通期 増減率
	中間実績	通期実績	中間見込	通期見込	
売上高	256,174	536,858	280,000	580,000	+8.0%
営業利益 (利益率)	25,078 (9.8%)	53,426 (10.0%)	30,000 (10.7%)	65,000 (11.2%)	+21.7%
税引前利益	30,187	64,378	30,000	65,000	+1.0%
当期利益	20,401	40,949	18,500	40,000	-2.3%
一株利益(円)	142.83*	285.47	127.92	276.59	-3.1%
平均為替レート(円/ドル)	109.48	113.31	115.00	115.00	+1.5%

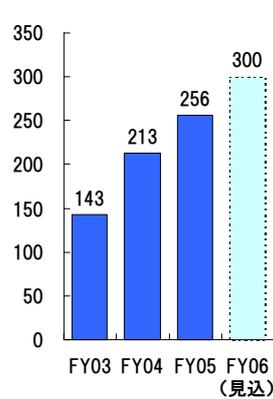
*2005年度中間期一株利益は2005年9月末を基準日として実施した1対2の株式分割後の株数ベースで計算しています。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

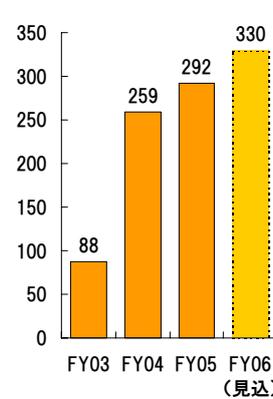
設備投資額
(単位:億円)



減価償却費
(単位:億円)

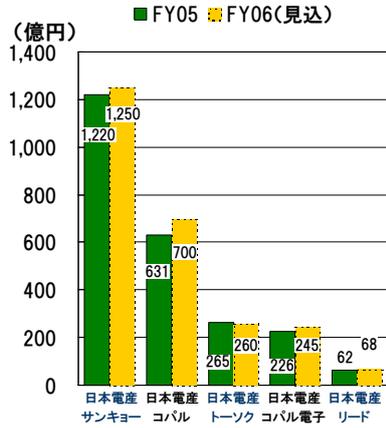


研究開発費
(単位:億円)

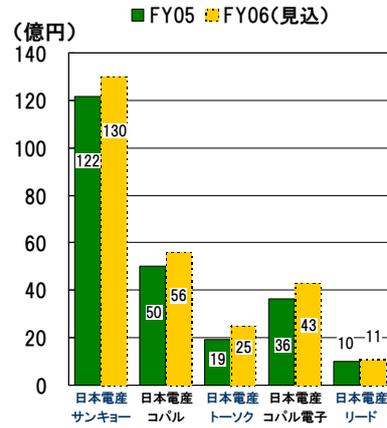


<参考> 上場グループ企業の業績推移

連結売上高



連結営業利益



*上記は国内会計基準に基づいて発表された業績数値です。

<参考> 上場グループ企業の業績推移

(百万円)	売上高			営業利益			当期利益		
	04年度実績	05年度実績	06年度見込	04年度実績	05年度実績	06年度見込	04年度実績	05年度実績	06年度見込
日本電産サンキョー	122,311	121,994	125,000	10,353	12,151	13,000	17,795	12,672	10,000
日本電産コバル	69,042	63,094	70,000	6,408	5,006	5,600	4,975	2,660	3,100
日本電産トーソク	28,678	26,518	26,000	2,830	1,905	2,500	1,647	1,095	1,500
日本電産コバル電子	23,865	22,599	24,500	4,254	3,628	4,300	2,760	2,560	2,800
日本電産リード	4,897	6,181	6,800	715	984	1,100	399	628	650
上場5社合計	248,793	240,386	252,300	24,560	23,674	26,500	27,576	19,615	18,050

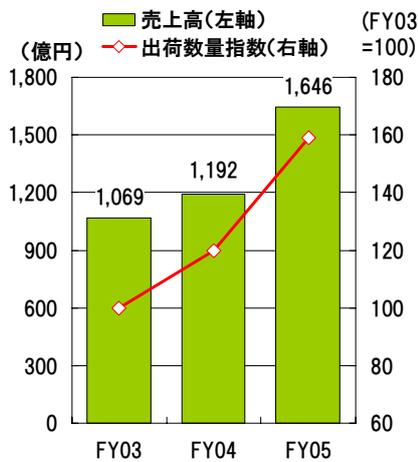
*上記は国内会計基準に基づいて発表された業績数値です。

事業区別の状況

精密小型モータ
 (HDDモータ
 その他DCモータ
 ファンモータ)
 中型モータ
 機器装置
 電子・光学部品
 その他

HDDモータ:2005年度実績

HDDモータの売上高と出荷数量



売上高・出荷数量とも過去最高
 高シェアを誇る2.5インチ以下の
 HDDモータ需要が拡大

- 売上金額
 - ◆ 前年比38%増
- 出荷数量
 - ◆ 前年比32%増
- 平均売価(円ベース)
 - ◆ 前年比4%増

HDDモータ:今後の戦略①

■ HDD需要拡大(年率15%以上)への対応

◆ 中国、フィリピンでの生産能力増強



日本電産(浙江)有限公司
06年4月
クリーンルームの
増設工事を完了

月産300万台
増強!



フィリピン日本電産㈱
フィリピン日本電産スービック㈱
06年4月
クリーンルームの
改装工事を完了

2工場で月産
350万台増強!

◆ タイ新工場の立ち上げ(06年10月稼動予定)



建設中のタイ日本電産㈱ ランシット工場(第一期棟)
月産600万台
整備中!

垂直磁気記録方式に完全対応

自動化設備を駆使した生産ライン



HDDモータ:今後の戦略②

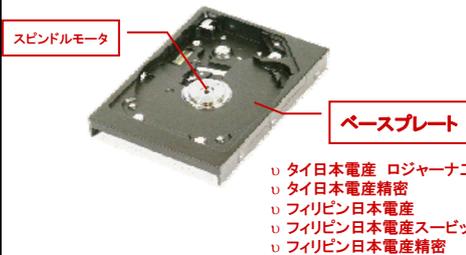
■ HDDモータ増産を支える部品供給体制の強化

部品内製能力の増強

- 2.5インチ用ベースプレートの加工能力増強
- タイ日本電産精密の拡張
- フィリピン日本電産精密の拡張

焼結FDBの生産能力増強

- NTN日本電産(浙江)の能力増強
- NTN日本電産(タイ)の稼動開始(06年6月予定)



- タイ日本電産 ロジャーナ工場
- タイ日本電産精密
- フィリピン日本電産
- フィリピン日本電産スービック
- フィリピン日本電産精密



NTN日本電産(浙江)
月産500万台を
700万台へ増強

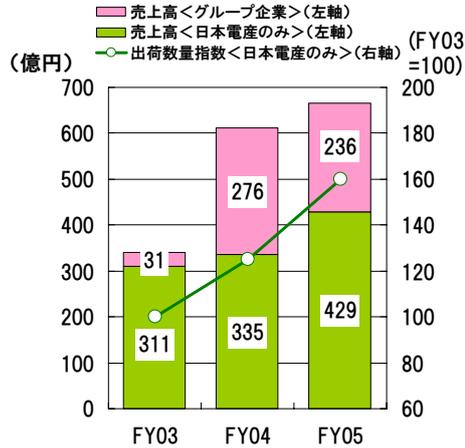
まず月産300万台
の能力を整備



建設中のNTN日本電産(タイ)

その他DCモータ:2005年度実績

その他DCモータの売上高と出荷数量



売上高・出荷数量とも過去最高
 ノートPC需要拡大により光ディスク装置向けSlimタイプが大幅増

- 売上金額
 - ◆ 前年比9%増
 - ◆ 日本電産扱い分は28%増
- 出荷数量
 - ◆ 日本電産扱い分は28%増

その他DCモータ:今後の戦略

■ 次世代DVD(ブルーレイディスク・HD DVD)に完全対応



拡大市場で圧倒的シェアを獲得
 両規格完全対応により更なるシェアアップ

高収益市場へ転換

技術力格差による淘汰
 技術競争力の更なる強化

■ OA機器用の新製品対応と標準モータの拡販強化

ファンモータ:2005年度実績

ファンモータの売上高と出荷数量



売上高は過去最高を更新
 売上基準の変更により
 前年比微増

- 売上金額
 - ◆ 前年比1%増
- 出荷数量
 - ◆ 前年比横這い
- 平均売価(円ベース)
 - ◆ 前年比1%増

ファンモータ:今後の戦略

■ 3新(新市場・新製品・新顧客)戦略の徹底
 による事業体制強化

<国内>大量需要顧客の囲い込み



<海外>5大客先への拡販強化



生産体制強化

中国大連&東莞につづく拠点設立
 ベトナム税制優遇をフル活用



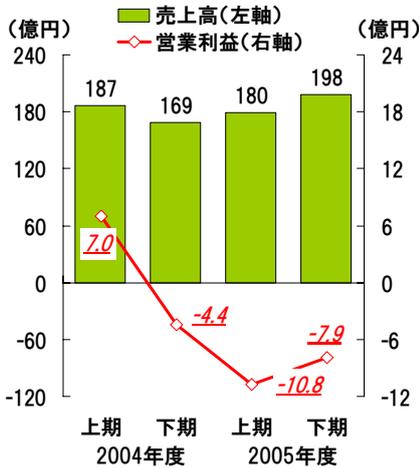
▲建築中のベトナム日本電産(06年6月稼働予定)

開発体制強化

高性能ファンの標準化による
 品質・コスト・納期対応を強化

中型モータ: 今後の戦略

中型モータの売上高と営業利益



■ 車載モータ

- ◆ パワステ用モータの新規受注 / 量産拡大
- ◆ ハイブリッド車向け高出力モータ(10kW以上)の開発

■ 家電・産業用モータ

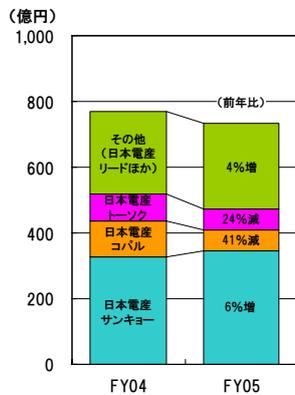
- ◆ 中国生産完全移管
- ◆ 新製品の開発・投入強化

今期は完全黒字化

機器装置、電子・光学部品、その他: 2005年度実績<会社別売上構成>

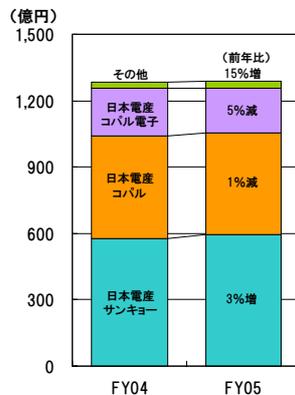
<機器装置>

日本電産トーソクの半導体製造装置、日本電産コパルのラボシステムの不振が影響



<電子・光学部品>

日本電産コパルの光学部品、日本電産コパル電子の家電・OA機器向け部品が低調



<その他>

日本電産トーソクの自動車部品事業は売上堅調も鋼材価格高騰が影響



機器装置、電子・光学部品、その他： 今後の戦略

■ 機器装置

◆ 産業用ロボット事業の強化・拡大

第8世代及び第9世代LCDガラス基盤搬送用ロボットの大増産
半導体ウェハー搬送用ロボットの生産拡大
(長野・伊那市に第4工場を新設)

■ 電子・光学部品

◆ 光ピックアップ事業の強化・拡大

生産性の向上による収益力強化

◆ 新製品量産への完全対応

デジカメ用レンズユニット(ODMモデル)、モバイル用レンズ・シャッター

■ その他

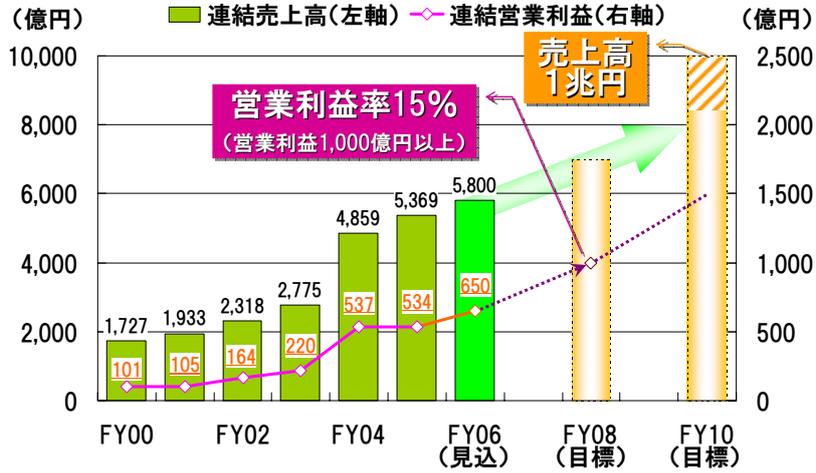
◆ 自動車部品生産能力の強化・拡大

ファン製造移管でトヨタ・ベトナムを専用工場として強化

中期経営目標と戦略

(～2010年度)

中期経営目標



2006年4月26日

2006年3月期 決算説明会

31

2010年度売上高1兆円を目指して



■ M&A専門部署の新設

- ◆ 外部よりエキスパートを招聘し
企業戦略室を創設(東京)
- ◆ 海外M&Aにも精通したプロ集団
- ◆ 藤井純太郎氏が統轄
(取締役副社長に6/22就任予定)

藤井純太郎 氏(略歴)

- 1998年6月 東京三菱インターナショナル 社長
- 2000年5月 株式会社東京三菱銀行 常務取締役
- 2001年6月 東京三菱証券株式会社 取締役社長

2006年4月26日

2006年3月期 決算説明会

32

ありがとうございました


日本電産株式会社
<http://www.nidec.co.jp/>